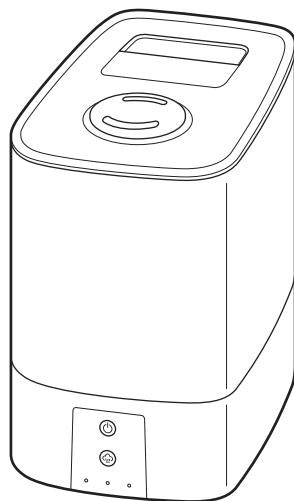


スチーム式加湿器

MSH-4510

- 目次 -

はじめにお読みください	1
安全上のご注意	2～4
各部のなまえ	5～6
特長	6
正しくお使いいただくために	7～8
知っておいていただきたいこと	8
正しい使いかた	9～10
抗菌カートリッジについて	11
排水のしかた（タンク内）	12
お手入れのしかた	13～15
保管のしかた	16
仕様	17
別売品について	18
故障かなと思ったら	19～20
アフターサービスについて	22



取扱説明書【保証書付】

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、スチーム式加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになられたあとも、大切に保管してください。

はじめにお読みください

ご使用に伴い本体内部に溜まる「スケール」(白い粉)について

- スチーム式加湿器は、「スケール」(水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分のこ)が本体内部に溜まりやすい製品です。汚れを軽減するために「スケール用フェルト」をヒーター部分に置いてご使用ください。
- 本体内部にスケール(白い粉)が溜まると、湯水エラーになったり本体内部の部品に影響したりすることがあります。本体内部に白い粉・塊があるときは下記方法でお手入れをしてください。

・ヒーター部に深いこすり傷がある場合、下記のお手入れを行うと表面のコーティングを剥がす恐れがあります。傷が深い場合は部品交換の必要がありますので、本書に記載のお客サービス窓口までご相談ください。

※ 小さな汚れは、重曹水を浸した布をスケール部分に1時間ほど置くとスケールが溶けることがあります。

お手入れのしかた

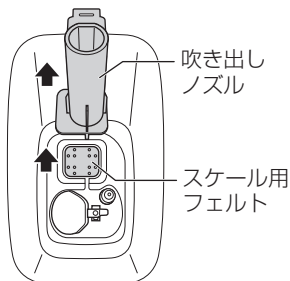
お手入れ頻度の目安：1週間に1回程度

ヒーター部や本体内部にスケールが付着したときは、「重曹水」を使用してお手入れをします。必ず電源を切り、本体が冷めたことを確認してから行ってください。

1 ふた、タンク、吹き出しノズル、スケール用フェルトを取り外し、内部の水を排水する

内部に残った水は「排水方向」から排水します。

※ スケール用フェルトはぬるま湯、もしくは重曹水で揉み洗いをします。



2 重曹大さじ1をヒーター部へ、水300mLを水槽部へゆっくりと注ぐ

※ 手の荒れやすい方はゴム手袋を着用してください。

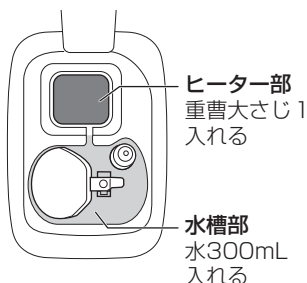
3 吹き出しノズルのみを取り付け、湯水エラーになるまで加湿量 Min (小) で運転する

自動的に電源が切れます。本体が十分冷めたら再び吹き出しノズルを外し、内部に残った重曹水を排水します。

手順2～3を2、3回繰り返したあと、残った汚れをスポンジなどでこすり、乾いたタオルで拭き取ります。

※ 重曹水を含む蒸気が出ますので、運転中は換気を行ってください。

※ 排水方向を必ず守ってください。また、吹き出しノズルを付けたまま排水しないでください。



安全上のご注意

- * ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- * ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの。

絵表示と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

- * お読みになられたあとは、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

警告



指示

●電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は拭き取る。ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。



禁止

●蒸気吹出口などから本機の内部にピンや金属棒などを入れない。ショート・感電の原因になります。



禁止

●交流 100V 以外では使用しない。火災・感電の原因になります。



指示

●電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。ショート・感電・発火・発煙の原因になります。



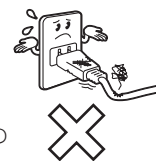
禁止

●本体を水につけない、水をかけない。水槽に直接水を入れない。ショート・感電の原因になります。水槽以外の本体内部に水が入ったときは、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてください。



禁止

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。ショート・感電・発火の原因になります。



安全上のご注意 (つづき)

警告



禁止

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。
火災・感電の原因になります。



分解禁止

●改造・分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。
けが・火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店または、裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。



禁止

●子供や介護の必要な方だけでは使わない。
けが・感電の原因になります。



禁止

●タンクや水槽部のお手入れに塩素系・酸性タイプの漂白剤や洗剤は使用しない。
洗剤が残り、有毒ガスが発生したり、故障の原因になります。



プラグを抜く

●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・けがの原因になります。



禁止

●乳幼児が誤って電源プラグ・器具用プラグをなめないように注意する。
感電・けがの原因になります。



接触禁止

●蒸気吹出口を触ったり、手や顔を近づけない。
やけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないように十分ご注意ください。



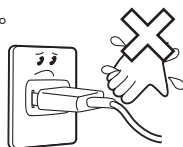
禁止

●製品を傾けない。
湯が流れ出て、やけど・故障の原因になります。



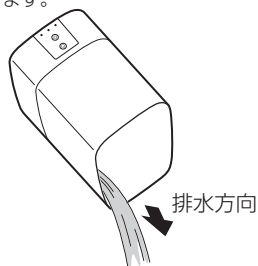
濡れ手禁止

●濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない。
けが・感電の原因になります。



指示

●排水方向から排水する。
排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。



・排水時、電源コードを本体から抜いてください。
・排水時、送風孔・器具用プラグ差込口から水が入らないようご注意ください。



禁止

●一般家庭の居室以外で使用しない。
温室など高湿度の場所で連続使用すると、ショート・感電の原因になります。また、食品、動植物、楽器、美術品の保存などの特殊な用途に使用すると、これらの品の品質低下の原因になることがあります。



プラグを抜く

●異常時（こげくさい臭いなど）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く。
異常のまま運転を続けると火災・感電の原因となります。運転を停止してお買い上げの販売店または、裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。



禁止

●タンク持ち手を持って移動しない。
タンクの落下、破損などの原因となり危険です。

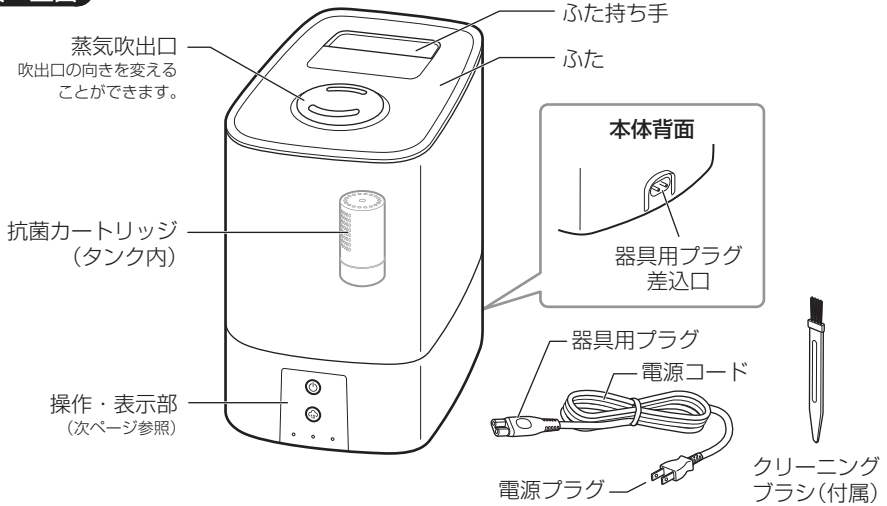
安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

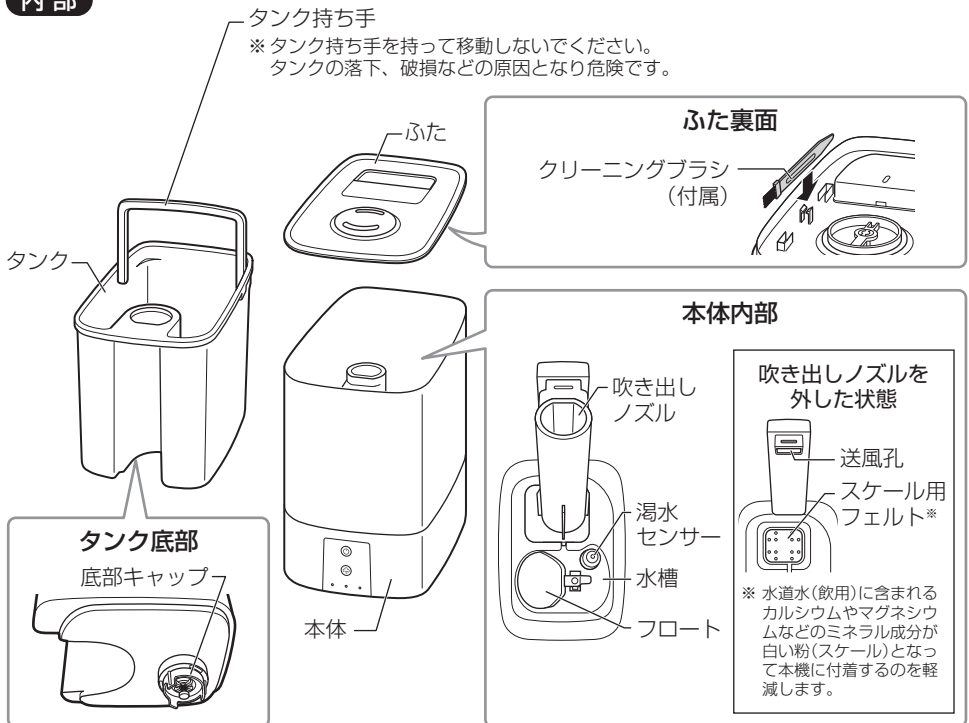
 指示	<p>●電源プラグを抜くときは電源コードをもたずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 ショート・感電の原因になることがあります。</p>	 プラグを抜く	<p>●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。 けが・やけど、絶縁劣化による漏電火災・感電の原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>●壁や家具、カーテンの近くでは使わない。 故障の原因になることがあります。また、蒸気を家具やカーテンに直接当てると、シミなどの原因になります。</p>	 禁止	<p>●ふたを外した状態で使用しない。 水滴が飛び散り、けが・やけどの原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>●屋外や直射日光の当たる場所で使用しない。 故障の原因になることがあります。</p>	 禁止	<p>●水道水（飲用）以外は使用しない。 井戸水や湧き水などを使用すると、雑菌の繁殖や、不純物が本体内部やタンク・抗菌カートリッジに付着して、故障の原因になることがあります。</p>
 指示	<p>●タンクの水は常に新しい水道水（飲用）と入れ替え、本体内部を定期的に清掃する。 掃除せずに使用すると、汚れや水あかにより雑菌やカビが繁殖し、異臭の原因になります。また、体質によっては健康を損なう恐れがあります。その場合は、医師にご相談ください。</p>	 禁止	<p>●凍結したまま使用しない。 故障の原因になることがあります。凍結の恐れがあるときは、タンクの水を捨ててください。</p>
 禁止	<p>●抗菌カートリッジを外した状態で使用しない。 カビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに健康を害する原因になります。</p>	 禁止	<p>●アロマオイルやアロマウォーター、香水、お湯などをタンクや本体へ入れない。 故障や水漏れの原因になることがあります。</p>
 指示	<p>●移動するときは運転を止め、本体を冷ました後、タンク・水槽部の水を捨てる。 水がこぼれて家財などを濡らしたり、水漏れの原因になります。</p>	 禁止	<p>●不安定な場所には置かない。 転倒すると中の水がこぼれてやけどをしたり、床を濡らしたり、送風孔から水が入り故障や水漏れの原因になります。</p>
 接触禁止	<p>●使用中はタンク・ふた・蒸気吹出口に手を触れない。 誤動作して、故障や水漏れ、変形、やけどの原因になります。</p>	 禁止	<p>●タンクを落としたり、ぶつけたり衝撃を与えない。 タンクにヒビが入るなどの破損をして水漏れの原因になります。</p>
 禁止	<p>●蒸気吹出口をふさがない。 カーテンやタオルなどで蒸気吹出口をふさぐと、異常過熱で変形や故障の原因になります。</p>	 禁止	<p>●タンクに水が入った状態でタンクを移動させない。 持ち手が外れて水がこぼれたり、タンクが破損する原因になります。</p>
 指示	<p>●周辺に、蒸気吹出口から出る蒸気をさえぎるものや、湿気に弱いものがないことを確認する。 床面を濡らす恐れがあります。</p>	 禁止	<p>●パソコンやテレビ、音響機器、精密機械（携帯電話など）の近くでは使用しない。 機器に水分が付着して、故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>●使用中は本体を動かさない。 中の水がこぼれてやけどをしたり、床を濡らしたり、送風孔から水が入り故障や水漏れの原因になります。</p>	 禁止	<p>●誤って倒れたり、誤った使いかたで水漏れをして濡れることがあります。</p>

各部のなまえ

前面・上面

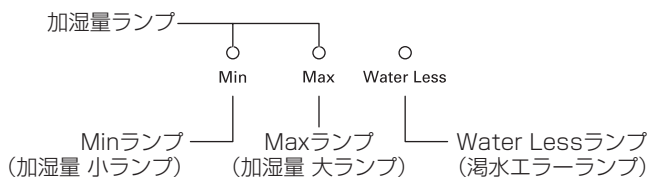
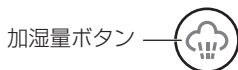
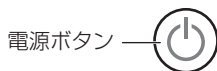


内部



各部のなまえ (つづき)

操作・表示部



Water Less ランプについて (湯水エラー)

- 運転中に水槽の水が少なくなると、Water Less ランプが赤色点滅しながら、警告音が5回鳴り、電源がOFFになります。
- タンクに水が入っているか、タンクが本体に正しくセットされているかを確認してください。

特長

- 本製品は、「加熱式」の加湿器です。

加熱式とは？

本体内部のヒーターで水を蒸発させ、ファンで空気中に放出させることで加湿します。
また、水の中に含まれる菌の繁殖防止にもなります。

- ※ 加熱 (ヒーター) の入/切を切り替えることはできません。
- ※ 加熱された水が噴霧されますが、暖房器具のようにお部屋をあたためるものではありません。
- ※ 蒸気吹出口付近の温度は約 60℃です。

正しくお使いいただくために

- タンクに水道水（飲用）以外は入れないでください。
井戸水・湧き水・市販のミネラルウォーターなどを使用すると、雑菌の繁殖や不純物が本体内部やタンク・抗菌カートリッジに付着して、故障の原因になります。また、タンクにお湯やアロマオイル・アロマウォーター・香水・アルコール類などを入れると、タンクの変形や破損による水漏れや故障、異臭の原因になります。
- 次亜塩素酸系^(※)の溶液は抗菌剤として使用しないでください。
※次亜塩素酸ナトリウム溶液を抗菌剤として加湿器に使用した場合、健康を損なう恐れがあるので使用しないでください。
- タンクや水槽部のお手入れに、塩素系・酸性タイプの漂白剤や洗浄剤は使用しないでください。洗浄剤が残り、有毒ガスが発生する原因になります。また、蒸気が発生しにくくなるなど、故障の原因になります。
- お手入れをせずにお使いになると、汚れや水あかにより雑菌やカビが繁殖し、異臭が発生したり、健康を損なう恐れがあります。また、加湿器性能の低下や故障の原因になりますので、こまめにお手入れをしてください。
「お手入れのしかた」（13～15ページ）を参照してください。

加湿器の設置場所

直射日光の当たる所

暖房器具の近くなど加湿器本体があたたまる所に置くと、

- ・変形の原因 になります。

水平で安定した台の上で使用してください

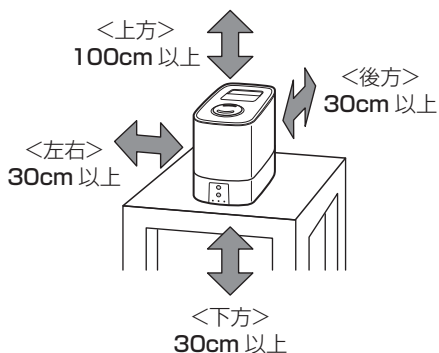
- ・床に直置きすると、本体周辺や床が濡れる原因
- ・転倒により水が漏れる原因 になります。

カーテンや壁・家具などの近くに置くと、

- ・シミ、変色、変形の原因 になります。

パソコンやテレビなど電子機器の近くで使用すると、

- ・機器に水分が付着して故障する原因
- ・映像の乱れや雑音の原因 になります。



正しくお使いいただくために（つづき）

- 室内温度 18℃以上での使用をおすすめしています。低い室温で本製品を使用すると蒸発しづらくなるため、室内が白く霧状になり、お部屋の床や壁、家電製品、家具などが湿ってしまう場合があります。お部屋の中をあたたかい状態に保ってお使いください。
- ご使用環境^(※)によっては、加湿量 [Max] (大) で運転しているときに本体周辺などに水滴が付着して濡れることがあります。
 - ※(例)
 - ・室内温度が低い状態
 - ・室内温度が高い状態
 - ・狭い場所や閉めきった場所
 - ・床や畳などの低い場所に直置きして使用した場合
 - ・冷たい壁や窓際で使用した場合
 - ・湿度が高い場合

知っておいていただきたいこと

- お住まいの地域やマンションなどの水道水（飲用）の水質によっては、若干においがする場合があります。
- 電源を入れてから蒸気が出るまでに、5分程度かかる場合があります。
- 運転中に「ゴー」という音がすることがあります。（沸騰により水中で発生した泡がはじけたときに発生する音です。）本機は水を沸騰させることにより加湿をするため、運転中は断続的に音がしますが異常ではありません。

正しい使いかた

はじめてご使用になるときは、必ず「安全上のご注意」（2～4ページ）をお読みください。

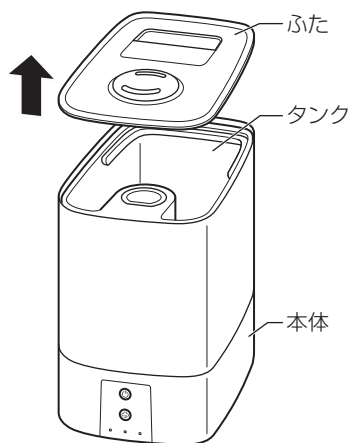
※タンクに水道水（飲用）を入れ、振り洗いを行ってから使用してください。
※底部キャップ裏側のパッキンが正しくセットされているか確認してください。
「お手入れのしかた」（14～15ページ）を参照してください。

タンクに水道水（飲用）を入れる

- ※水を入れるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※タンクに給水する前に底部キャップが閉まっているか確認してください。
- ※タンクを持ち運んで給水すると、タンクの落下や漏水などの原因となり危険ですのでおやめください。

1 ふたを本体から取り外す

- ※タンクが本体にきちんと取り付けられていることを確認してください。



2 タンクに水道水（飲用）を入れ、ふたを元通りに取り付ける

タンクに水道水（飲用）を入れた後、ふたを本体に取り付けます。

- ※本体や水槽部に直接水を入れないでください。



ご注意

- ・蒸気吹出口から直接水を入れないでください。水漏れや故障の原因になります。
- ・水道水（飲用）以外は使用しないでください。井戸水や湧き水、市販のミネラルウォーターなどを使用すると、雑菌の繁殖や不純物が本体内部やタンク・抗菌カートリッジに付着して、故障の原因になることがあります。
- ・給水の際は、お湯を使用しないでください。
- ・底部キャップをしっかりと付けてください。水漏れや漏水エラーの原因になります。

正しい使いかた (つづき)

電源を入れる

● 加湿器の設置場所 (7 ページ) を確認してください。

1 電源コードを本体の器具用プラグ差込口に接続した後、コンセントに電源プラグを差し込む

「ピーッ」と音がして、表示部のランプが全て点灯 (約 1 秒間) します。

2 電源ボタンを押す

Max ランプが点灯し、加湿量 [Max] で運転が始まります。

※ 初めてのご使用时や水槽に水が入っていない場合は、タンクからの給水が間に合わずに漏水エラーになることがあります。その際は一度電源を切り、再度電源を入れてください。



加湿量 (蒸気量) を変更する

加湿量ボタンを押す

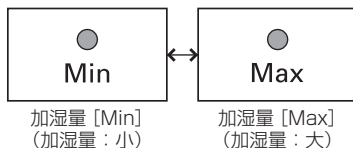
ボタンを押すたびに加湿量が [Min] (小) (Min ランプが点灯) と [Max] (大) (Max ランプが点灯) に交互に切り替わります。

[Min] は加湿量が少なく、[Max] は加湿量が多くなります。

※ 湿度が高い場合は、加湿量を [Min] に設定してください。

[Max] の設定は加湿過多になり、床面が濡れることがあります。

※ 蒸気吹出口付近の温度は約 60℃です。



運転を停止する

電源ボタンを押す

設定中の加湿量ランプ (Min ランプまたは Max ランプ) が消灯し、運転を停止します。

※ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

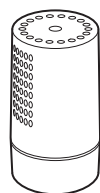
※ 電源を切った後も、約 3 分間ファンは動作を継続するため、ファンモーターの動作音と蒸気吹出口からの送風が続きますが、異常ではありません。

※ 電源を切った後、本体底部の残留水が高温のため、吹出口から湯気が出る場合がありますが、異常ではありません。



抗菌カートリッジについて

- 抗菌カートリッジには銀イオン抗菌剤を使用しています。これはタンク内の水を抗菌するものです。^{*1}人体や動植物には無害です。
- 抗菌剤の交換時期の目安は使用開始後2年です。汚れやにおいが気になる場合は、交換してください。新しい抗菌カートリッジのご注文は裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までお問い合わせください。また、「別売品について」（18 ページ）を参照してください。



^{*1} JIS に基づく抗菌試験による。

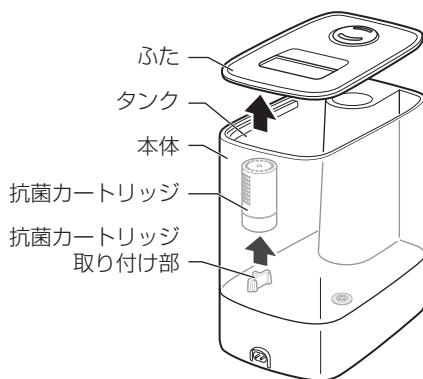
抗菌カートリッジの取り外しかた

※必ずタンク内に水が入っていないことを確認してください。

本体からふたを外し、タンク内部にある抗菌カートリッジを取り出す

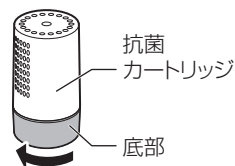
タンクを軽くおさえながら、抗菌カートリッジを真っ直ぐ引き抜きます。

- 取り付ける際は、抗菌カートリッジ取り付け部に抗菌カートリッジ底部の溝を合わせて差し込んでください。



抗菌カートリッジのお手入れ

- 1 抗菌カートリッジの底部を矢印の方向へ回して抗菌カートリッジから取り外す



- 2 網目部分等を付属のクリーニングブラシでやさしく洗い、内部の汚れを水で振り洗いする



排水のしかた（タンク内）

❗必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体を冷ましてから行ってください。

⊘タンク持ち手を持って移動しないでください。

⊘電源コードの抜き差しは濡れた手でやらないでください。

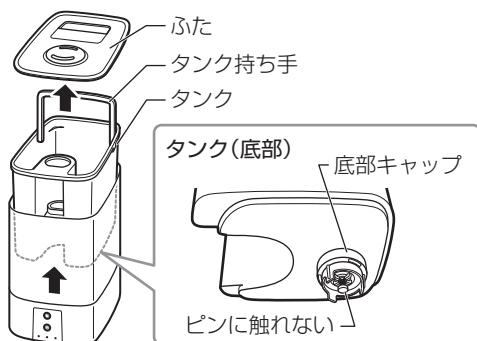
●タンクの水は常に新しい水道水（飲用）と入れ替え、本体内部を定期的に清掃してください。

●排水の際に、タンクを床に落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えないでください。タンクにヒビが入り水漏れの原因になります。

1 ふたを取り外し、タンクをまっすぐ上に持ち上げる

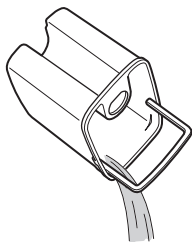
タンク底部に付着している水滴は、タオルなどで拭き取ってください。

●底部キャップの中央のピンを押すと水が漏れるので触れないでください。



2 タンク内の水を排水する

① タンク上部の開口部から排水します。



② 底部キャップを回して取り外し、底部キャップ内の水を排水します。



●水を抜いた後は、底部キャップを取り付けてからタンク内に水を入れ、振り洗いをしてごみなどを排出してください。

●底部キャップ裏側のパッキンが外れたり、ずれたりしていないことを確認してください。水漏れの原因になります。「お手入れのしかた」（14～15ページ）を参照してください。

3 底部キャップを取り付ける

●底部キャップの締め付けがゆるかったり、傾いて締め付けられていると、水漏れすることがあります。

4 タンクを本体にセットして、ふたを取り付ける

タンクは垂直にゆっくり取り付けてください。

お手入れのしかた

! 必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体を冷ましてから行ってください。

本体

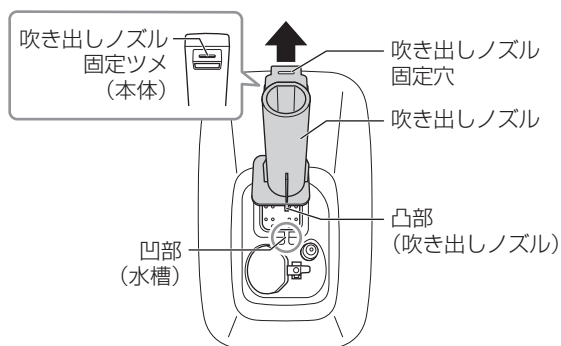
重曹を入れた水に布を浸し、固めに絞って、本体の汚れを拭き取ってください。

- 本体の水洗いは絶対にしないでください。
- シンナーやベンジン、みがき粉などは使用しないでください。変色や傷の原因になります。

吹き出しノズル

2、3日に1回を目安に本体から取り外し、水洗いして乾燥させてください。

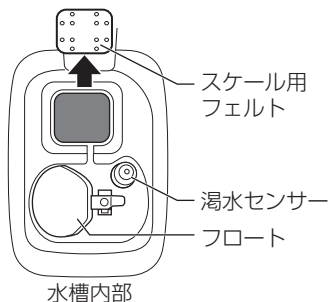
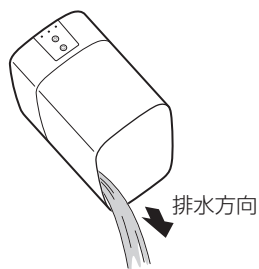
- 取り外す際は、吹き出しノズルを真っ直ぐ上に引き抜きます。
- 取り付ける際は、吹き出しノズル底部の凸部を水槽の凹部に合わせて差し込みながら、吹き出しノズル固定ツメに吹き出しノズル固定穴を差し込みます。



水槽

2、3日に1回を目安に、水槽内の水を捨て、濡れた布などで汚れを拭き取ってください。

- 送風孔や器具用プラグ差込口から水が入らないよう、必ず右側の排水方向から排水してください。
- 水槽に直接水を入れないでください。
- 洗剤は使用しないでください。故障の原因になります。
- 赤カビが発生した場合は、重曹水をスプレーボトルに入れ、附着箇所に吹きかけ、水で濡らした布でよく拭き取ってください。(重曹水：ぬるま湯 250ml に対し、重曹大さじ 2 杯をよくかき混ぜたもの)
- スケール用フェルトはぬるま湯で揉み洗いをした後、よく乾燥させてください。表面が硬くなってきたり汚れが落ちなくなってきた場合は、新しいものと交換してください。



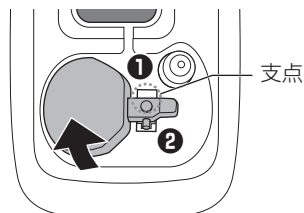
お手入れのしかた (つづき)

フロート

水槽内部のフロートを取り外し、水洗いして乾燥させてください。

右図の①側を支点にし、②側をこじるように持ち上げて取り外す

取り付ける際は、①側のツメを先に差し込んでから、②側を溝に押し込んでください。



蒸気吹出口・タンク内

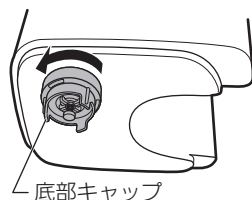
2、3日に1回を目安に水洗いし、よく乾燥させてください。

- お手入れせずに使用すると、汚れや水あかにより、赤カビの発生や異臭の原因になります。
- タンク内のパッキンにゴミや異物が詰まっていないか確認してください。水漏れの原因になります。
- 洗剤やシンナー・ベンジン・みがき粉などは使用しないでください。故障の原因になります。

底部キャップ

※底部キャップはタンクの底部にあります。

1 底部キャップを矢印の方向へ回して取り外す



2 底部キャップ裏側からピン用パッキン・キャップ用パッキンを取り外し、各部を付属のクリーニングブラシでやさしく洗い、内部の汚れを水で洗い流す

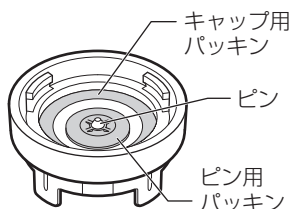
- キャップ用パッキンはつまようじなどを使用して取り外してください。
- ピン用パッキンは、ピンを底部キャップの表側から押し上げながら取り外してください。

お手入れのしかた (つづき)

3 お手入れ後、底部キャップ裏側のパッキン (ピン用・キャップ用) を正しくセットしてから、底部キャップをタンクに取り付ける

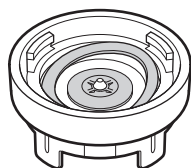
正しくセットされていないと、水が過剰に水槽に流れて水漏れや湯水エラーなどの原因になります。

良い例

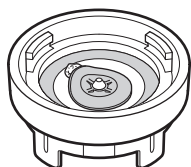


- ピン用パッキンをピンにはめ込みます (取り付けかたは次項参照)。
- ピン用パッキンやキャップ用パッキンと底部キャップの間に隙間がないことを確認してください。

悪い例



キャップ用パッキンが外れている



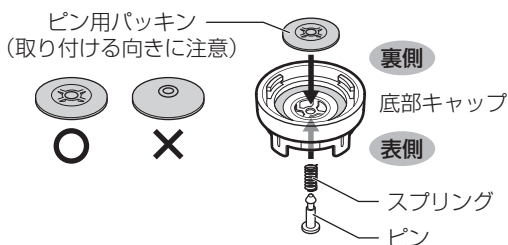
ピン用パッキンに異物が挟まっている

ピン用パッキンの取り付けかた

①ピンにスプリングをつけた状態で、底部キャップの表側から差し込みます。

②ピンを底部キャップの表側から押し上げながら、底部キャップの裏側からピン用パッキンを取り付けます。

※ピン用パッキンは取り付ける向きにご注意ください。



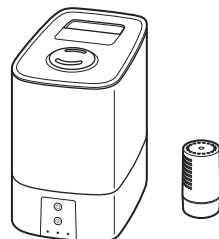
保管のしかた

⚠ 注意

- お手入れして、水分をよく乾燥させてから保管する。

汚れや水分が残ったまま長期間保管すると悪臭やカビなどが発生する原因になります。

- タンクと水槽部の水を排水して、陰干しでよく乾燥させてください。
- 抗菌カートリッジは保管する前に約1週間程、自然乾燥させてください。
- 取扱説明書と一緒に買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などをかぶせ、高温・多湿の場所を避け、立てて保管してください。また、上に重いものを置かないでください。



仕様

電 源	AC100V 50/60Hz	
消 費 電 力	[Max] 250W	[Min] 200W
加 湿 量	[Max] 300mℓ /h	[Min] 180mℓ /h
外 形 寸 法	約 186 (幅) × 250 (奥行) × 302 (高さ) mm	
質 量	約 2.3kg	
タ ン ク 容 量	約 4.5ℓ (抗菌カートリッジ付)	
コ ー ド	約 1.4m	
付 属 品	クリーニングブラシ、スケール用フェルト 2 枚 (1 枚は本体装着済み)	
生 産 国	中国製	
適 用 床 面 積 目 安	木造和室 8m ² (5 畳) / プレハブ洋室 14m ² (8 畳)	

- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

別売品について

別売品のお求めは、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にお問い合わせください。

別売品は弊社ホームページ（二次元コード）でもお買い求めいただけます。

- ・掲載サイトの閲覧は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。）
- ・お使いのスマートフォンなどにより、正しく表示されない場合があります。



名称	価格（税込）
タンク（ふた付き）	1,650 円
抗菌カートリッジ	1,100 円
底部キャップ	550 円
電源コード	1,100 円
吹き出しノズル	1,100 円

●上記価格に別途送料・代金引換手数料がかかります。

故障かなと思ったら

こんなときは？	確認してください！！
電源を入れても動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグや器具用プラグが抜けていませんか？ ➔ 電源プラグをコンセントに、器具用プラグを本体の器具用プラグ差込口にしっかり差し込んでください。 ● Water Less ランプが赤色点滅し、警告音が 5 回鳴りませんでしたか？ ➔ 濁水エラーです。タンクに水道水（飲用）を入れてください。
電源を切ってもモーター音や送風がしばらく続く。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切った後も、約 3 分間ファンは動作を継続するため、ファンモーターの動作音と蒸気吹出口からの送風は続きますが、異常ではありません。
電源を切った後、湯気が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切った後、本体底部の残留水が高温のため、吹出口から湯気が出ることがありますが、異常ではありません。
警告音が鳴って、運転が停止する。	<ul style="list-style-type: none"> ● タンクを正しくセットしていますか？ ➔ 正しくセットしてください。 ● タンクの水が少なくなっていますか？ ➔ 水道水（飲用）を補給してください。 「Water Less ランプについて」（6 ページ）を参照してください。
運転ランプが点灯しているのに蒸気が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 水は沸騰していますか？ ➔ 蒸気が出るまでしばらくお待ちください。蒸気が出るまでに 5 分程度かかる場合があります。 ● 室内の温度・湿度・照明・背景色などによって蒸気が見えにくい場合があります。
加湿中、大きな沸騰音（「ゴー」という音）がする	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ゴー」という音は、湯沸かしにより水中で発生した泡がはじけるときに発生する音です。本製品は、水を沸騰させることで加湿をするため、運転中は継続的に音がしますが異常ではありません。
加湿中の沸騰音がいつもより大きい	<ul style="list-style-type: none"> ● 水アカなどの汚れが原因で音が大きくなる場合があります。 ➔ お手入れをしてください。「お手入れのしかた」（13～15 ページ）を参照してください。
タンクと本体の間、または本体底部から水が漏れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 吹き出しノズルを取り付けていますか？ ➔ 吹き出しノズルをきちんと取り付けてください。 ● タンクにヒビが入っていませんか？ ➔ タンクを床に落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えると、ヒビが入り水漏れの原因になります。 ● 底部キャップの締め付けがゆるかったり、傾いて取り付けられていますか？ ➔ 底部キャップとキャップ用パッキンを正確にしっかりと取り付けてください。「お手入れのしかた」（14～15 ページ）を参照してください。 ● 底部キャップ裏側のピン用パッキンが外れていたり、異物が挟まっていますか？ ➔ ピン用パッキンを正しくセットしてください。「お手入れのしかた」（14～15 ページ）を参照してください。

故障かなと思ったら (つづき)

こんなときは？	確認してください!!
本体周辺や床が濡れる。 (水が溜まる)	<ul style="list-style-type: none">● 加湿量が [Max] になっていませんか？<ul style="list-style-type: none">➔ 湿度が高い場合は、加湿量を [Min] に設定してください。また、床や低い位置で使用すると濡れやすくなります。正しい設置場所を確認してください (7 ページ)。● 室内温度が低くなっていませんか？<ul style="list-style-type: none">➔ 低い室温で使用すると蒸発しづらくなります。室温 18℃以上での使用をおすすめします。
白い粉が本機に付く。	<ul style="list-style-type: none">● スケール用フェルトを取り付けて使用していますか？<ul style="list-style-type: none">➔ スケール用フェルトを取り付けずに使用すると、白い粉 (スケール) が付着する場合があります。● 白い粉は水道水 (飲用) に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分で有害なものではありません。付着したときは柔らかい布などで早めに拭き取ってください。

- 以上のことを調べていただき、なお異常のあるときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。

メ 毛

アフターサービスについて

1. 保証書

- ・ 保証書は、本書の裏面に添付されています。（※本書から切り離さないでください。）
- ・ 保証書はお買い上げの販売店で「お買い上げ日」と「販売店」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- ・ 保証期間はお買い上げ日より1年間です。


2. 修理を依頼されるとき

- ・ 保証期間内
商品に本書(保証書)を添えて、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご連絡ください。保証の記載内容により、無料で修理いたします。
- ・ 保証期間が過ぎている
お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。修理によって使用できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ・ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・ 「スチーム式加湿器」の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

4. 長年愛用された製品の点検（★長年ご使用のスチーム式加湿器の点検を！）

愛情点検	ご使用の際に、この様な症状がありませんか？	
	<ul style="list-style-type: none">●プラグや電源コードが異常に熱い。●電源コードに深いキズや変形がある。●コゲくさい臭いがする。●その他の異常、故障がある。	<p>一つでも該当する場合には→</p> <p>故障や事故防止のため、電源を切つてプラグをコンセントから抜き、必ず販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。</p>

以上、アフターサービスについてのご不明点がございましたら、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までお問い合わせください。

個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は、当社個人情報保護方針に基づき、適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談/お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のためにアルファミックス・コイズミ株式会社および関係会社で上記の個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに、適切な管理/監督をいたします。

【保証・無料修理規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店、または、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。

スチーム式加湿器 MSH-4510 保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から、下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。

品名／型番	スチーム式加湿器 / MSH-4510		
お買い上げ年月日 *	年	月	日
無料修理 保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	本体	1年	
お客様様	お名前 *		* 販売店
	ご住所 *		
	TEL ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

販売店の皆様へお願い

必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

お客様サービス窓口・修理受付

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

【お客様サービス窓口】 ☎ **048-718-3336** 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190
電話受付時間：平日9:00～17:00（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

- ※修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」に事前にご連絡ください。
※弊社への直接の返品はお受けしておりませんので、あらかじめご了承ください。返品につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。

アルファックス・コイズミ株式会社
<https://www.alphax.jp/>